

博物館へ行こう！

アショロカズハヒゲクジラ復元への道 ③

アショロカズハヒゲクジラは2500万年前のヒゲクジラの仲間です。今回は筋肉を復元した頭骨を土台に油粘土を盛って皮膚を復元していく作業をご紹介します。次号では完成した生体復元と展示日程をご案内します。

このコーナーでは、全4回にわたり、アショロカズハヒゲクジラの復元工程を紹介しています。



頭の骨



油粘土の盛り付け



油粘土の模型完成

1月に高知県で開かれた古生物学会で、復元の作業とこのクジラの食べ方について発表しました。
(「*Aetiocetus polydentatus* の頭部復元と摂食様式」 新村龍也他 2011年 日本古生物学会第160回例会)

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる

指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

No. 118

2011年 4月20日発行
(年4回発行)

○化石体験を楽しもう！！

新たに『古生物模型づくり』が加わった化石体験のラインナップを紹介します。費用・時間などは3ページをごらんください。

◇新登場！！古生物模型づくり

「古生物模型づくり」では、古代生物の頭骨の縮小模型を石こうでつくります。今年登場するのは、大型肉食恐竜ティラノサウルスと、謎の海獣デスモスチルスの頭の骨の縮小模型です。



◇新種が登場！！ミニ発掘 化石/クリスタル

大人気の「ミニ発掘」には、今年も新しい種類が登場します。『クリスタル』には1月から登場しているムーンストーンに4種類の新クリスタルが加わり、ぜんぶで16種類のクリスタルが発掘できます。『化石』にはなんと化石の王様ともよばれる「三葉虫」が登場します。



◇根強い人気！！レプリカづくり

根強い人気をほこる「レプリカづくり」では、ぜんぶで16種類以上のレプリカをつくることができます。石こうを型に入れてつくります。本物の化石との比較や色塗りも好評です。

もともとなった
本物の化石



化石体験

場所：博物館の化石工房（休館日以外、いつでも体験できます）

費用（材料費）：ミニ発掘・レプリカづくり 一回200円

古生物模型づくり 一回400円

かかる時間：種類によってちがいます。個人差もあります。

ミニ発掘 化石/クリスタル 10～30分

レプリカづくり

古生物模型づくり

レプリカや古生物模型の色塗り（無料）

40分（作業10分、固まるのを待つ時間 30分）

20～60分

○新商品登場 マグネット

世界でここだけ！ベヘモトプスの歯



価格 400円

歯化石のレプリカをマグネットにしました！
学術的にも価値のあるマグネットを君の手に！

左から、デスモスチルス、パレオパラドキシア、
ベヘモトプス（上）、ベヘモトプス（下）

○指定管理1年

☆入館者が増えました

平成22年度の入館者は、15,003人でした。5年ぶりに1万5千人を上まわりました（昨年度は13,596人。およそ11%の増加）。

増加の要因は、化石工房で提供している「化石体験」がたいへん好評であることと見ています。町内の子ども向け無料券の利用は250名でした。また、化石体験（化石工房）だけの利用者を加えると、16,000人となります。

☆「化石体験」が好評、合計1万個をこえました

化石体験は本号の2ページで紹介しています。「化石のレプリカづくり」は開館以来続けてきました・・・今年度は1,661個。4年前にはじめた「ミニ発掘」が好評で、「化石」と「クリスタル」を合わせて、8,832個。化石体験全体で、10,493個を提供しました。

☆決算は黒字

平成22年度は、トイレやボイラー関係の修繕がありましたが、消費税が免除されることもあり（22年度のみ）、指定管理契約期間内の大型展示物制作の資金を確保できそうです。詳しい決算をおこない、活動報告と合わせて、館内・ホームページで6月に公開いたします。

☆アンケート

入館者の動向を把握し、展示更新やサービスの改善などの方針をまとめるために、アンケート調査をおこないます。入館者の多いゴールデンウィークや夏休み期間の数日を予定しています。いろんなことをききたいので、館の行事として取り組めるような内容を考えています。タイトルは「お代は見てのお帰りDay（でい）」。こってりしたアンケートを計画しています。

○化石教室日程決まる

今年は、全部で4回、日曜日におこないます。どなたでも参加できますが、現地までは各自で行っていただきます。現地での活動は11～14時くらいで、昼食の持参が必要です。参加費用は無料ですが、保険料が実費分必要です（一回100円/人）。



参加希望の方は博物館にご連絡下さい。詳しい資料をお送りいたします。

第1回 5月22日：ベヘモトプス産地と十勝湾はじまりの貝化石：足寄町：2500万年・500万年前

第2回 6月19日：十勝の海が終わるころの海岸－カキ礁：土幌町：150万年前

第3回 7月24日：開けた深い海の貝化石：白糠町右股：3000万年前

第4回 9月11日：寒流系の大きな貝タカハシホタテ：釧路市阿寒町：500万年前

※第1回は「地質の日」記念行事、第4回は釧路市立博物館との共同開催です。

○石は磨くと玉になる－とかち石をみがこう－地質の日記念行事

とかち石は川原でひろうとザラザラしています。が、みがくとピカピカの玉になります。オリジナルの「とかち石文鎮」をつくろう。

5月15日（日曜日） 午前10時～午後3時：博物館化石工房で。

必要なもの：軍手、お昼ご飯、お茶など。**とかち石は提供します。**

定員 10名（先着）

博物館に電話で申し込んでください。

○探鳥会 第2回

5月8日（日） 午前8時

里見が丘公園駐車場の芝桜園入り口集合

（郊南交差点から西へ、国道241号沿い）

*申込み不要。不明な点は博物館までお問い合わせください。

所要時間は2時間でいど。防寒着・雨具など。双眼鏡、カメラ、筆記用具などをお持ちください。



下足寄湖畔で行われた第1回探鳥会の様子。オオワシ、ハクチョウ、アオサギなどの19種類の鳥を確認。

東日本大震災の義援金を館の窓口でお預かりしています。職員の分と合わせて「4万円」を足寄町社会福祉協議会に届けました。（4月4日、1回目として）

足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休 館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
海の日～8月末まで全日開館します。

○料 金 一般 400円、 小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。 足寄町内の小中学生は無料。

※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



編集後記

『地球』『環境』について考えることが多くなっている昨今ですが、足寄動物化石博物館が、楽しく・まじめに、考えていくきっかけになればいいなあ、と思います。